

臓器移植件数（造血幹細胞移植）

定義

令和3年度1年間の造血幹細胞移植の件数です。

当該調査項目の集計対象は、「骨髄移植」、「末梢血幹細胞移植」、「臍帯血移植」になります。自家移植を含みます。

算式

実数

当院の値（調査期間）

R3年度	73 件（年間）
R2年度	77 件（年間）
R1年度	65 件（年間）
H30年度	- 件（年間）

項目の解説

白血病などの血液悪性腫瘍の診療は高度な知識、技術、設備のある病院で行なわれる必要があります。その治療方法の一つが造血幹細胞移植です。これは心臓・肝臓・肺・膵臓・小腸の移植と比較すると、世の中に普及しつつあるため、国立大学病院以外でも行われるようになりましたが、高度な医療を提供している証左であるといえます。

造血幹細胞は、基本的に骨髄にあります。造血幹細胞を採取する方法によって、骨髄から採取する骨髄移植のほか、G-CSFという特殊な薬剤の投与により血液中に流れ出た造血幹細胞を採取する末梢血管細胞移植、出産時の臍帯血から採取する臍帯血移植に分類されます。

令和元年度より定義の見直しを行い、造血幹細胞移植について骨髄移植のみから末梢血管細胞移植と臍帯血移植を含めたため、令和元年度以降の数値を提示しております。